

【お詫びと訂正】

正誤表

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表	<下巻>の訂正(2023年4月20日時点)
-----	-----------------------

◇適用ハンドブック：初版(H25.11.20発行)～第11刷(R4.4.15発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
6	18	右下から2行目	錆(金偏に青)	錆
6	20	右下から8行目	錆(金偏に青)	錆
6	21	右下から9行目	錆(金偏に青)	錆
6	21	右下から7行目	錆(金偏に青)	錆
6	24	右下から6行目	錆(金偏に青)	錆
6	25	右上から13行目	板	削除
6	33	左下から8行目	板	削除
6	47	右上から3行目	障子	明かり障子
6	47	右上から3行目	襖	襖障子
6	79	図表6-142	恵那錆(金偏に青)	恵那錆
7	102	右下から1行目	平成32	令和2
7	107	右下から5行目	止める	留める
7	109	左下から4行目	庄	圧
7	114	左下から6行目	廃ガス	排ガス
7	114	左下から6行目	開放型	開放式
7	114	右上から2行目	開放型	開放式
7	114	右上から4行目	開放型	開放式
7	114	右上から7行目	開放型	開放式
7	114	右上から8行目	半密閉型	半密閉式
7	114	右上から9行目	密閉型	密閉式
7	114	図表7-37	半密閉型	半密閉式
7	114	図表7-37	開放型	開放式
7	114	図表7-37	密閉型	密閉式
7	119	左下から8行目	庄	圧
7	122	図表7-53	'NC	NC値
7	123	右上から9行目	「庄」を2カ所修正	圧
7	128	図表7-62	ソファ	ソファ
7	134	左上から4行目	ソファ	ソファ
7	138	左下から2行目	エアバック	エアバッグ
7	139	左下から8行目	カルシウム	カルシウム
7	139	左下から8行目	錆(金偏に青)	錆
7	140	右上から1行目	である。	である(2017年販売終了)。(追記)
7	143	左下から1行目	錆(金偏に青)	錆
7	145	左下から3行目	庄	圧

◇適用ハンドブック：初版(H25.11.20発行)～第11刷(R4.4.15発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
7	148	左下から12行目	定ている	定めている
7	150	図表7-100	コルケーゲートフィン	コルゲートフィン
8	223	左上から7行目	ソファ	ソファー
8	228	図表8-29(下から2つ目の図)	「ソファ」を2カ所修正	ソファー
9	242	左下から9行目	省エネルギーの使用の合理化に関する法律	エネルギーの使用の合理化等に関する法律
9	243	右上から1行目	都市計画区域内だけ	都市計画区域など
9	246	左下から5行目	法第55、56条	法第55、56条、56条の2（追記）
9	251	左上から6行目	石膏	石こう
9	254	右下から3行目	指定住宅性能評価機関	登録住宅性能評価機関
9	255	左下から9行目	性能の検討	性能と評価
9	255	図表9-16	指定住宅性能評価機関	登録住宅性能評価機関
索引	272	中央上から7行目	コルビュジェ	コルビュジエ

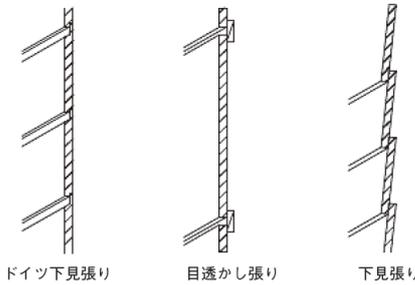
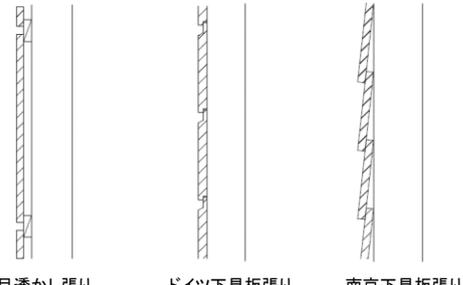
【お詫びと訂正】

正誤表

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 <下巻>の訂正(2022年4月15日時点)

◇適用ハンドブック：初版(H25.11.20発行)～第10刷(R3.4.15発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
6	20	右下から3行目	重量鉄骨	重量型鋼
6	21	左上から4行目	軽量鉄骨	軽量型鋼
6	21	左上から4行目	ライトゲージ(LG)ともいう。	削除
6	34	右上から1行目	粗面	粗面
6	35	左下から4行目	乾式構法	乾式工法
6	35	左下から8行目	湿式構法	湿式工法
6	36	左下から12行目	壁仕上の構法	壁仕上の工法
6	36	左下から11行目	湿式構法	湿式工法
		左下から10行目	湿式構法	湿式工法
6	36	左下から11行目	乾式構法	乾式工法
		左下から9行目	乾式構法	乾式工法
6	55	図表6-110	コンクリート 1.3	コンクリート 1.6
6	83	左下から15行目	数寄屋建築	数寄屋建築
6	86	図表6-145	 <p>ドイツ下見張り 目透かし張り 下見張り</p> <p>図表6-145 羽目板の張り方</p>	<p>画像差し替え</p>  <p>目透かし張り ドイツ下見板張り 南京下見板張り</p> <p>図表6-145 羽目板の張り方</p>
7	182	右下から9行目	直接/間接は	直接・間接は
9	245	右上から7行目	～問題がなければ検査済証が交付される。	～問題がなければ検査済証が交付される。なお、都市計画区域外においては、一定規模以内の場合は確認申請は不要になる。
9	248	左上から6行目	天井面が地面より1m以上低くなければならない	天井が地盤面からの高さ1m以下でなければならない
9	251	左下から1行目	また法でいう火を使う器具は、～従ってIH コンロのみを使用する場合は、内装制限は適用されない(国土交通省～44号)。	削除

【お詫びと訂正】

正誤表

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 <下巻>の訂正(2021年4月16日時点)

◇適用ハンドブック：初版(H25.11.20発行)～第9刷(R2.4.15発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
巻頭	カラー	図表8-61	展開図の着色	展開図の着彩
6	2	左上から13行目	過言でない	過言ではない
6	6	左下から9行目	軸組在来構法	在来軸組構法
6	10	図表6-19	規格木材	枠組壁工法に用いられる規格木材(乾燥材)例
6	25	左下から15行目	現在、圧縮強度、100N/mm ²	現在、圧縮強度100N/mm ²
6	36	左上から10行目	コンクリート表面をモルタル等の左官仕上げを	コンクリート表面にモルタル等の左官仕上げを
6	41	左上から6行目	つづが 吊束	つづが 吊り束
6	42	右下から1行目	(蹴込)	(蹴込み)
		右下から3行目	蹴込み床	蹴込床
		図表6-86		
6	51	図表6-105	蹴込み板	蹴込板
6	56	右下から11行目	防火上有害な変形や亀裂が発生、せず、	防火上有害な変形や亀裂が発生せず、
6	88	左上から6行目	相欠	相欠き
7	109	図表7-23	重量 1kg	質量 1kg
7	110	右下から2行目	(6)人間の温度感覚	(6)人間の温熱感覚
8	229	図表8-30	2点透視図法	2消点透視図法
9	246	図表9-2	<p>図表9-2 高さの制限</p>	<p>図表9-2 高さの制限</p>
9	249	右上から7行目	(11)内装制限(令112条、128条の3の2及び4、129条)	(11)内装制限 関連法令(法第35条、令第128条、令第129条など)

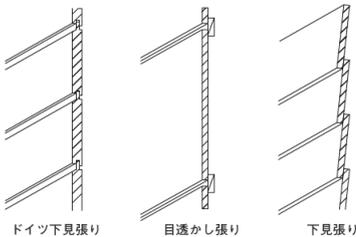
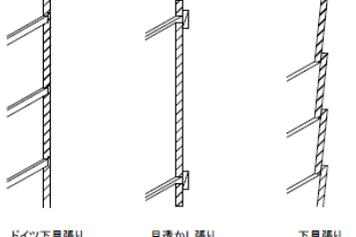
【お詫びと訂正】

正誤表

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 <下巻>の訂正(2020年4月6日時点)

◇適用ハンドブック：初版(2013(H25).11.20発行)～第8刷(2019(H31).4.10発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
6	2	右上から3行目	その後、寢殿造りから書院造りへ	その後、寢殿造から書院造へ
6	7	図表6-11		「ホールダウン金物」と記入。  ホールダウン金物
6	18	図6-42	(c)水平型フィンガジョイント	(c)水平型フィンガージョイント
6	18	図6-42	(d)垂直型フィンガジョイント	(d)垂直型フィンガージョイント
6	29	図表6-64 花崗岩	耐摩耗性が大。	耐摩耗性が大。
6	32	図表6-69 C	耐摩耗性	耐摩耗性
6	37	左上から12行目	設備機器が取り付くことが多いので、	設備機器を取り付けることが多いので、
6	41	左上から13行目	寢殿造り	寢殿造
6	41	左上から18行目	書院造り	書院造
6	41	左上から19行目	数寄屋造り	数寄屋造
6	42	左上から6行目	書院造り	書院造
6	44	右上から2行目	寢殿造り	寢殿造
6	44	右上から3行目	書院造り	書院造
6	47	右下から5行目	スムーズ	スムーズ
6	55	図表6-110	軟質ウレタンフォーム保温板	硬質ウレタンフォーム保温板
6	60	右上から16行目	書院造りで使われ	書院造で使われ
6	61	右上から1行目	寢殿造り	寢殿造
6	77	右上から2行目	寢殿造り	寢殿造
6	86	図表6-145		図の差し替え 
6	89	右下から14行目	⑧ 合成樹脂エマルジョンペイント1種(AEP) 一般にアクリル系エマルジョンペイントと呼ばれるもので、低温でも造膜性が良い。可塑剤がなくても被膜形成が良く、色付けも容易である。耐候性、耐摩耗性、保色性に優れているため、水滴を生じるような場所(浴室、キッチンなど)に適している。	⑧ 合成樹脂エマルジョンペイント JIS K5663 1種(EP-1) 水性エマルジョンペイントの一種で、低温でも造膜性がよく、可塑剤がなくても被膜形成に優れ色付けも容易である。耐水性、耐摩耗性、保色性にも優れているため浴室やキッチンの壁や天井仕上げに適している。 なお、略記号としてはEPになるが、図面上などではAEPと表記されることもある。
6	89	右下から7行目	⑨ 合成樹脂エマルジョンペイント2種(EP) 一般に水性エマルジョンペイントと呼ばれるもので、壁や天井の塗料として広く使われている。安価で、多くのタイプがある。耐水・耐アルカリ性はやや劣る。 水性エマルジョン塗料は有機溶剤を含まないので、安全かつ無公害である。また、ほぼ無臭なので、インテリア用として壁や天井に最も多く使われている。	⑨ 合成樹脂エマルジョンペイント JIS K5663 2種(EP-2) 水性エマルジョンペイントの一種で上記の1種に準ずるものである。1種より安価で多くのタイプがあるが、耐水性・耐アルカリ性はやや劣る。
6	92	右上から9行目 右下から11行目	合成エマルジョンペイント2種(EP)	合成樹脂エマルジョンペイント
6	92	右下から5行目	合成樹脂エマルジョンペイント1種(AEP)	合成樹脂エマルジョンペイント
6	93	右上から10行目 右上から11行目	合成エマルジョンペイント2種(EP) 合成樹脂エマルジョンペイント1種(AEP)	合成樹脂エマルジョンペイント2種 合成樹脂エマルジョンペイント1種
7	96	右下から14行目	風向発生頻度を円グラフの中心からの距離で表したもの	風向発生頻度を8方位もしくは16方位に分けて表したもの
7	121	図表7-51内	低温域共鳴透過	低音域共鳴透過
7	130	左上から5行目	建物の日照時間は、	建物の日照時間は、

◇適用ハンドブック：初版(2013(H25).11.20発行)～第8刷(2019(H31).4.10発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
7	197	右下から2行目	金銀(メッキ)製品等を痛める	金銀(メッキ)製品等を傷める
8	215	右上から2行目	建物の鉛直方向の断面を表す図面、	建物の鉛直方向の断面を表す図面に、
9	247	右下から2行目	令第1条の2	令第1条二号
9	254	右上から16行目	構造体力	構造耐力
9	255	右上から2行目	性能評価書とは	性能評価書には
9	260	左上から17行目	小売業者(古物商を含む)には排出者(消費者)から引き取った廃家電製品をメーカーに引き渡す義務が、そして排出者には再商品化など(「再商品化」と「熱回収」)の料金を負担するという義務がそれぞれ課され、三者負担によりリサイクルを行う形をとっている。	小売業者(古物商を含む)には排出者(消費者)から引き取る義務と廃家電製品をメーカーに引き渡す義務が、そして排出者には再商品化など(「再商品化」と「熱回収」)の料金を負担するという役割分担により循環型社会を形成していくこととなっている。
索引	273	左下から2行目	図表6-145 全国タイル工業協会編「タイル手帳」全国タイル工業協会	削除

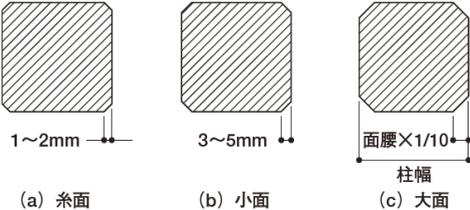
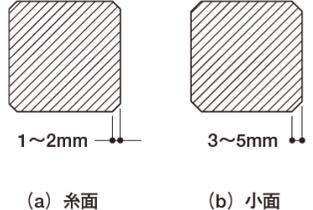
【お詫びと訂正】

正誤表

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

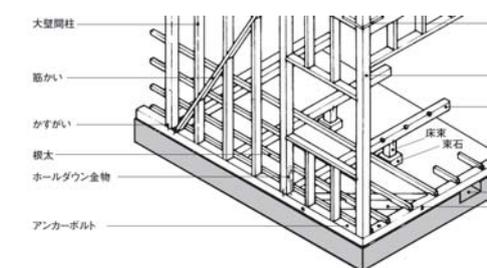
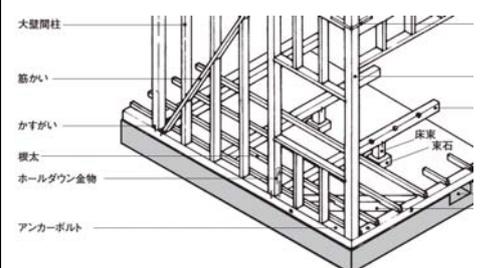
正誤表 <下巻>の訂正(2019年4月2日時点)

◇適用ハンドブック：初版(H25.11.20発行)～第7刷(H30.5.1発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
6	26	左下から7行目	ている	ている。
6	34	右上から3行目	ぞうきんずり	雑巾摺り
6	37	左上から5行目	照明器具等を取付る	照明器具等を取り付ける
6	38	右上から8行目	使用されることが多い。。	使用されることが多い。
6	42	図6-85		(c)大面を削除 
6	44	図表6-90	ぞうきん摺り	雑巾摺り
6	45	左下から3行目	目地底	底目地
7	126	右下から4行目	光膜反射	光幕反射
7	130	左上から6行目	日照時間は季節によって異なり	一方、可照時間は季節によって異なり
7	164	左下から8行目	内線規定	内線規程
7	164	図表7-130		
7	164	右上から8行目		
7	207	右上から14行目		
7	249	右下から3行目	しかも耐火建築物は対象外になるので	しかも主要構造部を耐火構造とした場合が対象外になるので

【お詫びと訂正】

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表		＜下巻＞の訂正(平成30年4月16日時点)		
◇適用ハンドブック：初版(H25.11.20発行)～第6刷(H29.7.1発行)				
章	頁	行・図表番号	誤	正
-	巻頭	「編集にあたって」右ページ8行目	ここで取り上げ解説してある	ここで取り上げ解説してある。
-	目次	下から2行目	2 吸音材と遮音材	2 吸音材
6	4	右上から12行目	森林面積が大きく良質の木材を豊富に産出する、	森林面積が大きく良質の木材を豊富に産出する。
6	4	右上から15行目	組積造は敬遠された、	組積造は敬遠された。
6	5	図表6-3	 <p>大壁間柱 筋かい かすがい 根太 ホールダウン金物 アンカーボルト</p>	 <p>大壁間柱 筋かい かすがい 根太 ホールダウン金物 アンカーボルト</p> <p>画像の根太の一部を削除</p>
6	24	左下から3行目	ボルトランドという名前は、	ボルトランドという名前は、
6	25	左下から15行目	現在圧縮強度、100N/mm ² 以上のものもつくれる。	現在、圧縮強度、100N/mm ² 以上のものもある。
6	26	左上から2行目	① 配筋	削除
6	56	左上から1行目	2 吸音材と遮音材	2 吸音材
6	56	左下から10行目	1) 多孔質吸音材	削除
6	85	右上から4行目	b.特殊加工壁紙、ガラスフィルムなどがある。	b.特殊加工壁紙、ガラスフィルムなど
6	86	右下から3行目	9.5mm、と12.5mmで、	9.5mmと12.5mmで、
6	92	右下から11行目	下地を調整する、	下地を調整する。
6	93	右上から12行目	パテの必要とならない平滑な塗装面では	パテを必要としない平滑な塗装面では
7	137	図表7-78	給水圧力 (KPa)	給水圧力 (kPa)
7	145	右上から1行目	一戸建て住宅では器具数も少なく、落差も小さい為、通気管を設けることはほとんどないが、集合住宅や大きな建物では忘れてはいけない設備である。	一戸建て住宅で器具数が少なく、落差が小さい場合は、通気管を設けないこともあるが、集合住宅や大きな建物では必要な設備である。
7	177	左上から18行目	あるため、狭い隙間に入れて	あるため、狭い隙間に入れて
7	182	左下から9行目	さらさわるため、	さらされるため、
7	208	左下から1行目	リフォーム時などの	リフォーム時などの
8	210	右下から3行目	おのおの建築設計図書は、	おのおの建築設計図書は、
8	236	左下から4行目	の例である。。照明による	の例である。照明による
-	266	中列の上から5行目	遮音材……………56	削除

【お詫びと訂正】

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 <下巻>の訂正(平成29年6月12日時点)

◇適用ハンドブック：初版(H25.11.20発行)～第5刷(H28.9.1発行)

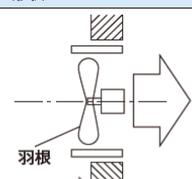
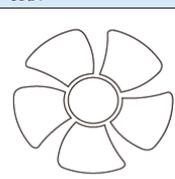
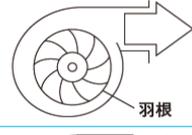
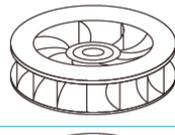
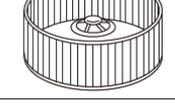
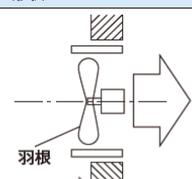
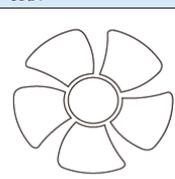
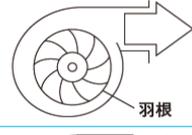
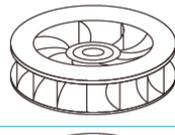
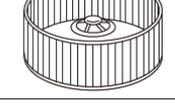
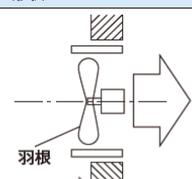
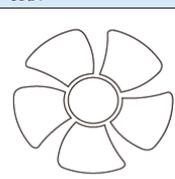
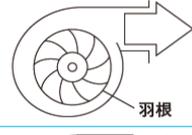
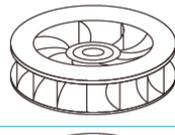
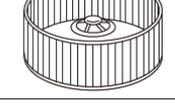
章	頁	行・図表番号	誤	正																																																																
6	3	左上から15行目	第2次世界大戦	第二次世界大戦																																																																
7	122	右上から8行目	会話や音楽を快く聞きとれるためには、	会話や音楽を快く聞きとるためには、																																																																
7	175	右下から5行目	○W相当の明るさ	○形相当の明るさ																																																																
7	175	図表7-146	<ul style="list-style-type: none"> 表の項目 電球、小形電球⇒区分 表内に記載されている「W」は削除し、「電球」を追記 (JELC7501/口金E26)⇒(JIS C 7501) (JEL118/口金E17) ⇒(JEL 118) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">  一般照明用電球 代替表示区分 (JELC7501 / 口金E26) </td> <td colspan="2">  小形一般照明用電球 代替表示区分 (JEL118 / 口金E17) </td> </tr> <tr> <th>電球</th> <th>定格初光束</th> <th>小形電球</th> <th>定格初光束</th> </tr> <tr> <td>20W形相当</td> <td>170lm</td> <td>25W形相当</td> <td>230lm</td> </tr> <tr> <td>30W形相当</td> <td>325lm</td> <td>40W形相当</td> <td>440lm</td> </tr> <tr> <td>40W形相当</td> <td>485lm</td> <td>50W形相当</td> <td>600lm</td> </tr> <tr> <td>60W形相当</td> <td>810lm</td> <td>60W形相当</td> <td>760lm</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>75W形相当</td> <td>1000lm</td> </tr> <tr> <td>100W形相当</td> <td>1520lm</td> <td>100W形相当</td> <td>1430lm</td> </tr> </table> <p>参照：(一社)日本電球工業会</p> <p>図表7-146 一般照明用電球代替表示</p>	 一般照明用電球 代替表示区分 (JELC7501 / 口金E26)		 小形一般照明用電球 代替表示区分 (JEL118 / 口金E17)		電球	定格初光束	小形電球	定格初光束	20W形相当	170lm	25W形相当	230lm	30W形相当	325lm	40W形相当	440lm	40W形相当	485lm	50W形相当	600lm	60W形相当	810lm	60W形相当	760lm	—	—	75W形相当	1000lm	100W形相当	1520lm	100W形相当	1430lm	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">  一般照明用電球 代替表示区分 (JIS C 7501) </td> <td colspan="2">  小形一般照明用電球 代替表示区分 (JEL 118) </td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>定格初光束</th> <th>区分</th> <th>定格初光束</th> </tr> <tr> <td>電球20形相当</td> <td>170lm</td> <td>電球25形相当</td> <td>230lm</td> </tr> <tr> <td>電球30形相当</td> <td>325lm</td> <td>電球40形相当</td> <td>440lm</td> </tr> <tr> <td>電球40形相当</td> <td>485lm</td> <td>電球50形相当</td> <td>600lm</td> </tr> <tr> <td>電球60形相当</td> <td>810lm</td> <td>電球60形相当</td> <td>760lm</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>電球75形相当</td> <td>1000lm</td> </tr> <tr> <td>電球100形相当</td> <td>1520lm</td> <td>電球100形相当</td> <td>1430lm</td> </tr> </table> <p>参照：(一社)日本電球工業会</p> <p>図表7-146 一般照明用電球代替表示</p>	 一般照明用電球 代替表示区分 (JIS C 7501)		 小形一般照明用電球 代替表示区分 (JEL 118)		区分	定格初光束	区分	定格初光束	電球20形相当	170lm	電球25形相当	230lm	電球30形相当	325lm	電球40形相当	440lm	電球40形相当	485lm	電球50形相当	600lm	電球60形相当	810lm	電球60形相当	760lm	—	—	電球75形相当	1000lm	電球100形相当	1520lm	電球100形相当	1430lm
 一般照明用電球 代替表示区分 (JELC7501 / 口金E26)		 小形一般照明用電球 代替表示区分 (JEL118 / 口金E17)																																																																		
電球	定格初光束	小形電球	定格初光束																																																																	
20W形相当	170lm	25W形相当	230lm																																																																	
30W形相当	325lm	40W形相当	440lm																																																																	
40W形相当	485lm	50W形相当	600lm																																																																	
60W形相当	810lm	60W形相当	760lm																																																																	
—	—	75W形相当	1000lm																																																																	
100W形相当	1520lm	100W形相当	1430lm																																																																	
 一般照明用電球 代替表示区分 (JIS C 7501)		 小形一般照明用電球 代替表示区分 (JEL 118)																																																																		
区分	定格初光束	区分	定格初光束																																																																	
電球20形相当	170lm	電球25形相当	230lm																																																																	
電球30形相当	325lm	電球40形相当	440lm																																																																	
電球40形相当	485lm	電球50形相当	600lm																																																																	
電球60形相当	810lm	電球60形相当	760lm																																																																	
—	—	電球75形相当	1000lm																																																																	
電球100形相当	1520lm	電球100形相当	1430lm																																																																	
7	176	左上から2行目	電球○○W相当の	電球○○形相当の																																																																
7	176	左上から4行目	100W電球相当の	100形電球相当の																																																																
7	176	左上から5行目	80W相当の光	80形相当の光																																																																
9	246	左上から11行目	「延べ面積の敷地面に対する割合	「延べ面積の敷地面積に対する割合																																																																

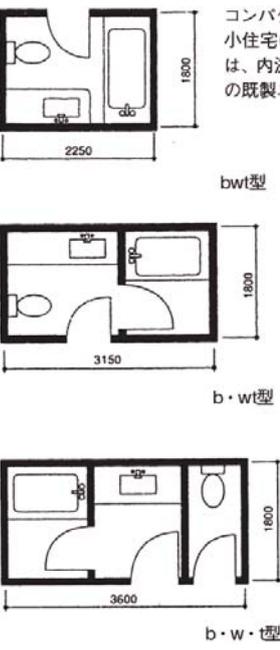
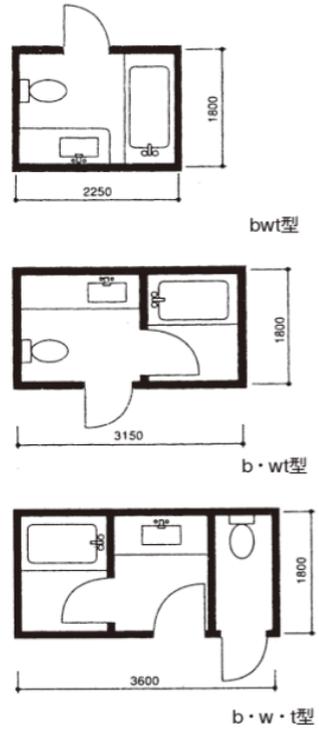
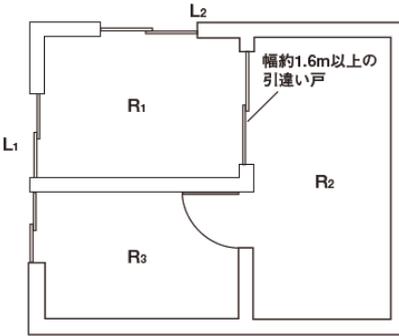
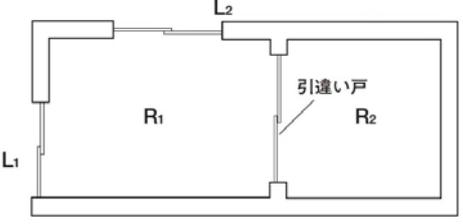
【お詫びと訂正】

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 <下巻>の訂正(平成28年6月7日時点)

◇適用ハンドブック：初版(H25.11.20発行)～第4刷(H28.2.1発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正																
6	5	図表6-3内の左上から6行目	短尺金物	短冊金物																
6	9	図表6-14内の左上の図	根太床(車床)	根太床(単床)																
6	10	図表6-17内の右下の図(腰のルビ)	あご	あご																
6	14	左下から12行目	気乾状態となるこのとき	気乾状態となる。このとき																
6	19	図表6-45 中程右側	合板スラブ	合成スラブ																
6	47	右下から4行目	しかし木製建具は反りや伸縮を伴うのでそれを維持することが難しい。 そのため、最近では	そのためいろいろな種類のレールと戸車が使われる(図表6-98)。 また、最近では																
6	48	左上から3行目	化対策にもなる(図表6-98)。	化対策にもなる(図表6-134(P70))。																
6	57	右下から7行目	4) 塗布防水	4) モルタル防水																
6	57	右下から6行目	モルタルなどに混入して	モルタルに防水剤を混入して																
6	63	右上から5行目	窓サッシが上にスライドしながら開く機構の窓。	窓の上部がサッシ枠に沿って下にスライドし、下部が外側にシり出す。																
6	70	左下から6行目	戸車にはレール(図表6-134)と	戸車にはレールと																
6	70	左下から4行目	平戸車を用いる。	平戸車を用いる。(図表6-98(P48))																
6	79	左上から5行目	対衝撃性	耐衝撃性																
6	83	右上から9行目	幅が広い(図表3-144)。	幅が広い(図表6-144)。																
7	125	右上から10行目	入射	入射																
7	141	右下から1行目	プラスチックチューブ(鞘)を設し	プラスチックチューブ(鞘)を設置し																
7	149	図表7-97 内の「用途」	削除箇所にて	追記箇所にて																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類と特徴</th> <th>形状</th> <th>羽根</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ●プロペラファン ①軸流送風機の最も簡単で、小形のもの。 ②風量は多いが、静圧は低く、0～30Pa程度なので、ダクトなどの抵抗を受けると、極度に風量は減少する。 ③他に圧力形でダクト接続が可能な有圧換気扇、ダクト間に挿入できるコンパクトな斜流ファンがある。 </td> <td></td> <td></td> <td>・台所・便所等の壁掛けファン ・浅型レンジフード</td> </tr> <tr> <td> ●ターボファン ①比較的広幅の後向きの羽根が付いているもの。 ②効率は他のファンに比較して、最も高く、高速ダクト方式の送風機に適している。 </td> <td></td> <td></td> <td>・空調ダクト ・高速ダクト ・浅型レンジフード</td> </tr> <tr> <td> ●シロッコファン ①水車と同じ原理で、図のように、羽根車に、幅の狭い、前向きの羽が多数付いているもの。 ②静圧が高く、あらゆる送風機に使われている。 </td> <td></td> <td></td> <td>・空調ダクト ・深型レンジフード</td> </tr> </tbody> </table>	種類と特徴	形状	羽根	用途	●プロペラファン ①軸流送風機の最も簡単で、小形のもの。 ②風量は多いが、静圧は低く、0～30Pa程度なので、ダクトなどの抵抗を受けると、極度に風量は減少する。 ③他に圧力形でダクト接続が可能な有圧換気扇、ダクト間に挿入できるコンパクトな斜流ファンがある。			・台所・便所等の壁掛けファン ・ 浅型レンジフード	●ターボファン ①比較的広幅の後向きの羽根が付いているもの。 ②効率は他のファンに比較して、最も高く、高速ダクト方式の送風機に適している。			・空調ダクト ・高速ダクト ・ 浅型レンジフード	●シロッコファン ①水車と同じ原理で、図のように、羽根車に、幅の狭い、前向きの羽が多数付いているもの。 ②静圧が高く、あらゆる送風機に使われている。			・空調ダクト ・深型レンジフード	図表7-97 ファンの種類と特徴
			種類と特徴	形状	羽根	用途														
			●プロペラファン ①軸流送風機の最も簡単で、小形のもの。 ②風量は多いが、静圧は低く、0～30Pa程度なので、ダクトなどの抵抗を受けると、極度に風量は減少する。 ③他に圧力形でダクト接続が可能な有圧換気扇、ダクト間に挿入できるコンパクトな斜流ファンがある。			・台所・便所等の壁掛けファン ・ 浅型レンジフード														
●ターボファン ①比較的広幅の後向きの羽根が付いているもの。 ②効率は他のファンに比較して、最も高く、高速ダクト方式の送風機に適している。			・空調ダクト ・高速ダクト ・ 浅型レンジフード																	
●シロッコファン ①水車と同じ原理で、図のように、羽根車に、幅の狭い、前向きの羽が多数付いているもの。 ②静圧が高く、あらゆる送風機に使われている。			・空調ダクト ・深型レンジフード																	
7	154	左下から3行目	高温でないため、エントロピーの拡大が少なく、取り扱い圧力が	高温でないため、取り扱い圧力や温度が低く安全性に優れていることである。																
7	171	右下から2行目	GIE(国際照明委員会)	CIE(国際照明委員会)																
7	197	図表7-181 表題	浄水器の仕組み	浄水器・整水器の仕組み																
7	197	左上から3行目	(d)浄水器	(d)浄水器・整水器																

章	頁	行・図表番号	誤	正
7	202	図表7-198	 <p>コンパクトなサニタリープランで、小住宅に向いている。最小のものは、内法寸法1100×1600mm程度の既製ユニット製品もある。</p> <p>bwt型</p> <p>コンパクトなサニタリープランで、小住宅に向いている。バスルームユニットは、内法寸法1100×1600mm程度の既製もある。</p> <p>b・wt型</p> <p>最も充実したサニタリープランだが、小住宅には適さない。便所を独立される場合は、手洗いを設ける必要がある。</p> <p>b・w・t型</p>	 <p>bwt型</p> <p>b・wt型</p> <p>b・w・t型</p>
9	246	図表9-3	 <p>R₁とR₂は一室とみなされる（R₂とR₃は別室とみなされる）したがって、</p> $L_1 + L_2 \geq \frac{R_1 + R_2}{7}$ <p>が成立すれば、R₂部分に採光窓がなくてもよい。（L₁、L₂は開口部の面積、R₁、R₂は室の床面積）</p>	 <p>R₁とR₂は一室とみなされる。したがって、</p> $L_1 + L_2 \geq \frac{R_1 + R_2}{7}$ <p>が成立すれば、R₂部分に採光窓がなくてもよい。（L₁、L₂は開口部の面積、R₁、R₂は室の床面積）</p>
9	262	右下から12行目	付けられている	付けられている。

【お詫びと訂正】

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版<下巻>をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 <下巻>の訂正(平成28年1月29日時点)

◇適用ハンドブック: 初版(H25.11.20発行)～第3刷(H27.1.20発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
6	56	右下から10行	有宍	有害
6	63	左上1行 表内	フオールディングドア	スライディングドア
7	140	左下から3行	エコファーム	エネファーム
7	153	右上から3行	図表7-105	図表7-106
7	179	左下から11行	直射グレア	直接グレア

【お詫びと訂正】

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 <下巻>の訂正(平成27年1月20日時点)

◇適用ハンドブック：初版(H25.11.20発行)～第2刷(H26.4.20発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
7	119	右下から6行	単位はdB(A)で表される。	単位はdBで表される。以前の単位はdB(A)またはホンが使われてきた。
7	120	文中5カ所 図表7-49 3カ所	dB(A)	dB
7	122	図表7-53	dB(A)	dB

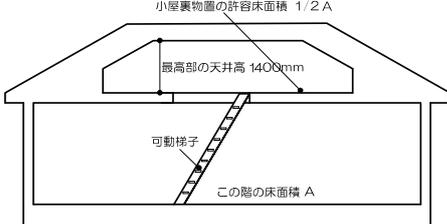
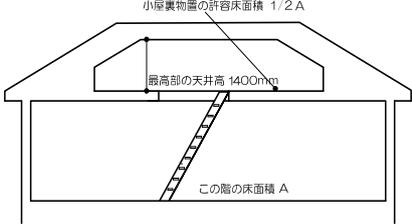
【お詫びと訂正】

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 <下巻>の訂正(平成26年9月3日時点)

◇適用ハンドブック: 初版(H25.11.20発行)～第2刷(H26.4.20発行)

章	頁	行・図表番号	誤	正
6	33	左上から4行	ツーバイフォー構法の場合、際根太が土台の役割を果たしほぼ同様の構成となる。	ツーバイフォー構法の場合、1階床を束立て床にすることも多いが、
6	43	左上から6行	⑤ 洞床	⑦ 洞床
6	43	左上から10行	⑥ 吊り床	⑤ 吊り床
6	43	左上から13行	⑦ 置き床	⑥ 置き床
6	75	図表6-139	密度650kg/m ³ 以下のもの	密度650kg/m ³ 未満のもの
6	76	左下から12行	30%以下の	30%未満の
7	120	右下から2行	$TL = \log_{10} \frac{1}{\tau} = \log_{10} \frac{I}{I_t}$	$TL = 10 \log_{10} \frac{1}{\tau} = 10 \log_{10} \frac{I}{I_t}$
7	166	左上から16行	変更したときは	変更したいときは
7	181	図表7-157	光度核	光度角
7	190	図表7-165	 <p>特定電気用品のPSEマーク 特定電気用品以外の電気用品のPSEマーク</p>	 <p>特定電気用品のPSEマーク 特定電気用品以外の電気用品のPSEマーク</p>
8	221	図表8-19	<p style="text-align: center;">コ ン セ ン ト</p> <p>一般の壁付きコンセント Ⓢ 壁型を塗る</p> <p>2口の壁付きコンセント Ⓢ₂</p> <p>3極の壁付きコンセント Ⓢ_{3P}</p> <p>アース付のコンセント Ⓢ_E</p> <p>防水形の壁付きコンセント Ⓢ_{WP}</p>	<p style="text-align: center;">壁付コンセント</p> <p>Ⓢ は Ⓢ で示してもよい 壁側を黒く塗る</p> <p>一般のコンセント Ⓢ</p> <p>2口コンセント Ⓢ₂</p> <p>3極コンセント Ⓢ_{3P}</p> <p>接地(アース)極付きコンセント Ⓢ_E</p> <p>防雨(防水)型コンセント Ⓢ_{WP}</p>
9	244	左上から12行	軒天上	軒天井
9	244	左下から4行	鉄鋼モルタル塗	鉄網モルタル塗
9	246	左下から7行	2) 高さの制限	2) 高さの制限(法第55、法第56条)
9	246	右上から1行	⑤建物の高さの制限～(図表9-2)。	⑤隣地斜線制限、などがある(図表9-2)。
9	246	右下から3行	2)有効採光面積の算定	2)有効採光面積の算定(法第28条)
9	247	左下から3行	ただし、学校の教室で床面積が50㎡を超える場合は、3m以上でなければならない。	削除
9	248	左上から6行	法第52条の2	法第52条の 3 第3項 *
9	248	左下から6行	(令第22条)	削除
9	248	左下から3行	令第22条	令第22条の2
9	249	右上から7行	(11)内装制限	(11)内装制限(令112条、128条の3の2及び4、129条)
9	251	右上から7行	以下のような規定がある。	以下のような規定がある(国土交通省住指発682号)。

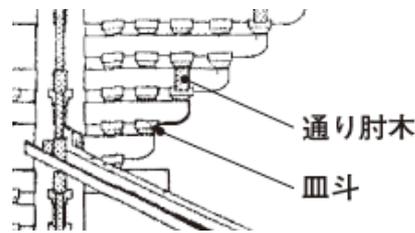
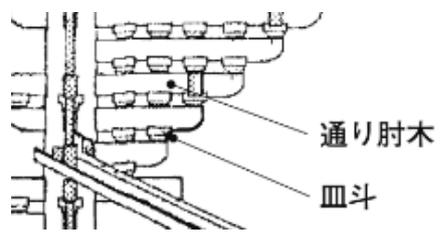
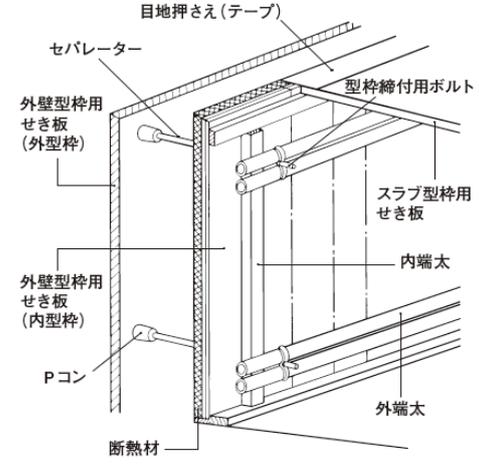
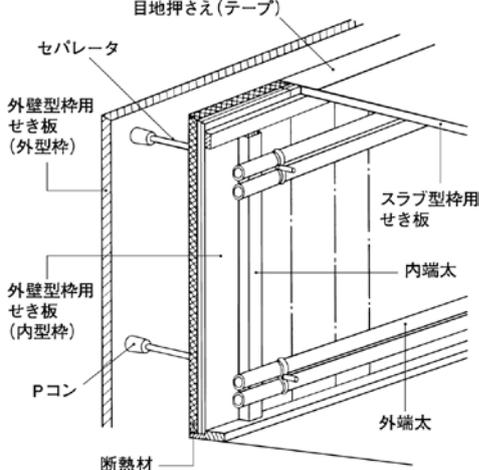
章	頁	行・図表番号	誤	正
9	251	右上から12行	(平均高ではないことに注意)。	(平均高ではないことに注意、図表9-12)。 なお、上記①、②の他に、自治体によっては、小屋裏物置を使用するために設置する階段や梯子の仕様と換気用などの開口部の大きさについての規定を別途設けているところがある。
9	251	右上から13行	③の文章、④の文章	削除
9	251	図表9-12		

*:4/1に修正

【お詫びと訂正】

この度はインテリアコーディネーターハンドブック統合版をご購入いただきありがとうございました。
掲載内容につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正誤表 <下巻> 初版(平成25年11月20日発行)の訂正 (平成26年4月10日現在)

章	頁	行・図表番号	誤	正
6	目次		第4節 機能材料と工法	第4節 機能材料と構法
6	2	図表6-1		
6	3	左下から13行	特にコンピューターの	また、コンピューターの
6	7	左下から10行	柱は長い	柱は上下の支点間が長い
6	7	左下から9行	最小径が決まっている。	最小径が決まる。
6	7	左下から3行	柱と柱の	また、柱と柱の
6	8	左下から7行	外壁も断熱を行うが、特に壁では	建物は断熱を必要とするが、特に外壁では
6	14	左上から15行	施工性が良い、	施工性が良く、重量当たりの強度が大きい。その他にも
6	22	右上から7行	などがある。	などがある(図表6-52,6-74)。
6	25	左上から3行	水はコンクリートの	水は、収縮亀裂の原因ともなりコンクリートの
6	26	図表6-57		
6	26	右上から5行		「フォームタイ(型枠締付用ボルト): 型枠が倒れないように、せき板と横・縦端太を連結する金物」を削除
6	26	右下から4行	フォームタイ	型枠締付用ボルト
6	37	左上から18行	下地用につくられた部材も	下地用につくられた既製の部材も
6	40	左上から5行	(2)和室・壁の造作	(2)真壁の造作
6	48	図表6-97	リーベキップ	ドレーキップ
6	48	図表6-97	縦軸	縦軸回転
6	54	17行	第4節機能材料と工法	第4節機能材料と構法
6	57	左下から10行	材料や工法	材料や構法
6	58	図表6-114		「ビニルアスベスト床タイル」を2カ所削除
6	71	左上から9行	現在では認められていない	現在では認められていない
6	74	右上から12行	厚物から～薄物	厚物から薄物
6	74	右下から6行		「塗装を施して」を削除
6	84	左下から1行	辺リボン	ヘリンボーン
6	88	右上から17行	水溶性塗料)、	水溶性塗料、
6	89	右下から10行	耐反性	耐候性
7	102	右下から8行		「これまでの仕様基準はなくなり、」を削除
7	103	左上から10行	外皮熱貫流率	外皮平均熱貫流率
7	103	図表7-13	透過日	透過日射熱
7	117	図表7-44	反射音 I	反射音 I r

章	頁	行・図表番号	誤	正
7	117	図表7-44	吸収音 I	吸収音 I a
7	117	図表7-44	透過音 I	透過音 I t
7	176	左上から1行	下記	図表7-146
7	178	図表7-151	7.屋外用ブラケット	7.ブラケット
7	189	右上から11行	電球形上のランプ	電球形のランプ
7	197	左上から8行	水洗金具	水栓金具
7	197	図表7-180	水洗金具	水栓金具
7	197	右上から2行	中空系フィルター	中空糸膜フィルター
7	198	図表7-184		
7	202	図表7-198上中	内法寸法1100×160mm	内法寸法1100×1600mm
7	208	図表7-212	設置極付コンセント	接地極付コンセント
8	215	図表8-9	木造の矩形図	木造の矩計図
9	248	右上から10行		3)地階における～を248頁左下から5行の前へ
9	252	右上から14行	防災規制	防災規制
9	263	右上から12行	一般財団法人日本壁装協会	一般社団法人日本壁装協会
9	263	右下から4行	一般社団法人インテリアファブリックス協会	一般社団法人日本インテリアファブリックス協会
9	264	左上から6行	一般社団法人インテリアファブリックス協会	一般社団法人日本インテリアファブリックス協会